

教員のICT活用指導力の基準 の具体化・明確化について

(案)

文部科学省 初等中等教育局 参事官付

1. 教育の情報化のねらい

「教育の情報化」により「生きる力」をはぐくむ

1. 「情報活用能力」を育成

情報社会に主体的に対応できる「情報活用能力」を育成

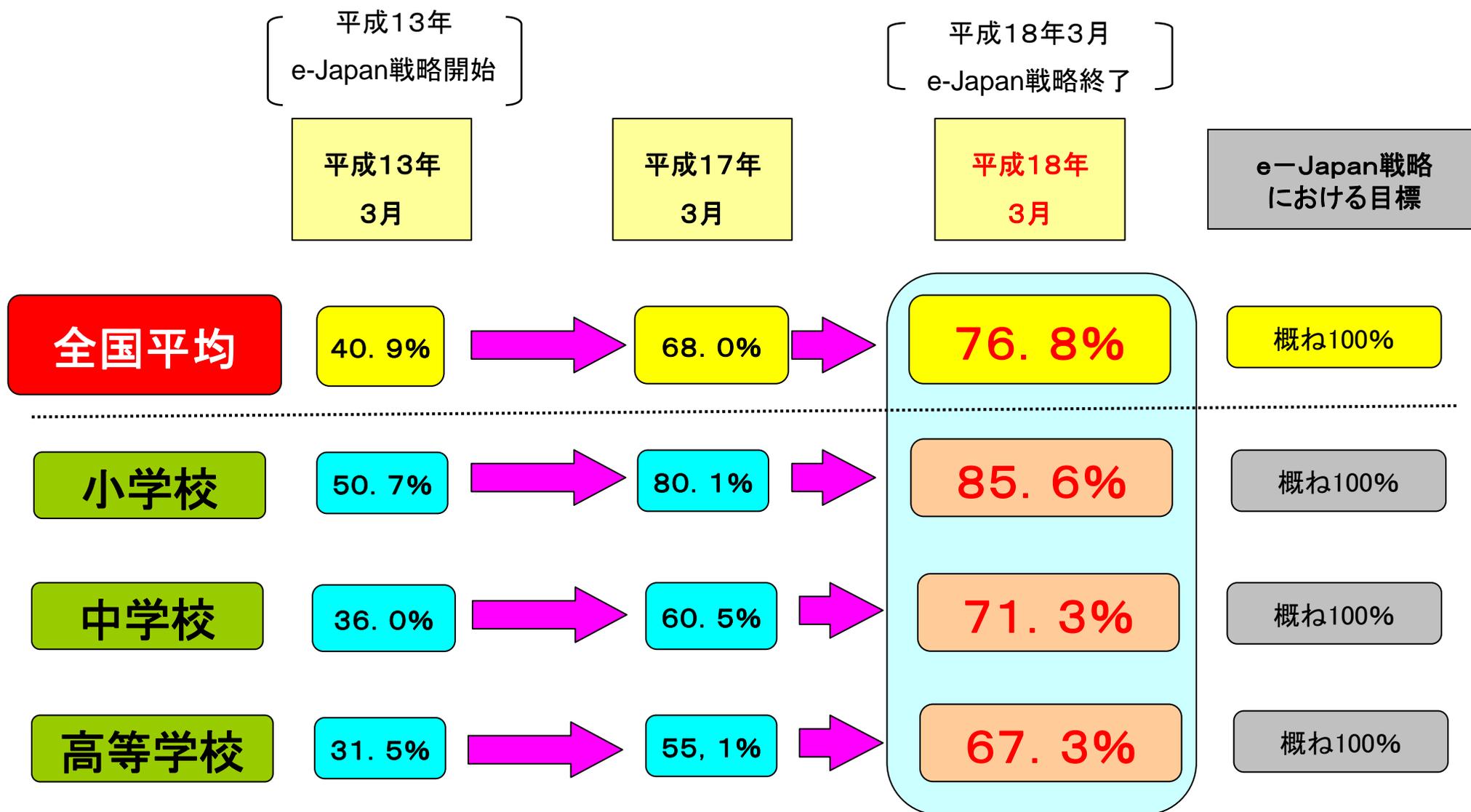
2. 「わかる授業」を実現し、「確かな学力」を向上

各教科等における効果的なICT活用により、基礎・基本の習得、判断力・表現力の育成など「確かな学力」を身につけさせる



教員のICT活用指導力の向上が不可欠

2. 教員のICT活用指導力の現状



3. 教員のICT活用指導力の調査項目の現状

4. 教員のコンピュータ活用等の実態

(2) 教員の実態

② コンピュータ等を使って教科指導等ができる教員数

「コンピュータ等を使って教科指導等ができる教員」とは、何らかの手段で少しでも(過去も含めて)コンピュータ等を活用した授業等ができる教員のことである(実際に行っているかどうかは問わない)。

なお、コンピュータの授業での活用例としては、以下のようなものがあるが、これに限定されない。

- ・理解が難しい内容を視覚的にイメージ化するような教育用コンテンツを部分的に提示することができる。
- ・児童生徒がインターネット上の情報やデジタルカメラの画像などをプレゼンテーションソフトなどを使ってまとめ、発表するような授業をすることができる。
- ・授業の一部で児童生徒がドリル型コンテンツなどを使って学習するような授業をすることができる。
- ・電子メールやグループウェアなどを使って交流・共同学習を行うような授業をすることができる。
- ・授業の導入やまとめなどで、動画などの教育用コンテンツやインターネット上の素材を提示することができる。
- ・実物提示装置やスキャナなどを使って教科書上の絵・グラフや学習素材などを提示することができる。
- ・プレゼンテーションソフトなどで教材を作成・提示することができる。
- ・電子黒板などで教科書や教材を提示し、書き込みしながら授業を行うことができる。
- ・児童生徒がインターネットなどを使って課題に対応した情報を収集、整理するような授業をすることができる。
- ・テレビ会議システムなどを使って学校間での交流学习を行うような授業をすることができる。
- ・校内ネットワークなどを使って、児童生徒の学習成果を共有・相互評価させることができる。

「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」より

4. 「IT新改革戦略」(平成18年1月IT戦略本部決定)【抜粋】

II 今後のIT政策の重点

2. IT基盤の整備

(3) 人材育成・教育

次世代を見据えた人的基盤づくり
—全ての教員へのIT機器の整備、IT活用による学力向上—現状と課題

<現状と課題>

今後は、学校におけるIT環境の一層の整備を進めるとともに、ITを活用した学力向上等のための効果的な授業の実施や、学ぶ意欲を持った子どもたちがITを活用して効果的に学習できる環境の実現などが期待されるが、そのためには、教員のIT活用能力を一層向上させるとともに、優良な教育用コンテンツの整備を進めていくことなどが必要である。

<目標>

2. 教員のIT指導力の評価等により教員のIT活用能力を向上させる。

<実現に向けた方策>

3. 2006年度までに教員のIT指導力の評価の基準の具体化・明確化を行い、それに基づき、ITを活用した教育に関する指導的教員の配置や、教員のIT活用能力に関する評価をその処遇へ反映すること等を促進することにより、全ての教員のIT活用能力を向上させる。

<評価指標>

4. 教員のIT活用能力の評価や指導的教員の配置等、IT活用能力を反映した教員の処遇を行っている自治体数。

5. 「重点計画-2006」(平成18年7月IT戦略本部決定)【抜粋】

Ⅱ IT新改革戦略を推進するための戦略

2. IT基盤の整備

2.4 次世代を見据えた人的基盤づくり

—全ての教員へのIT機器の整備、IT活用による学力向上—

②教員のIT活用指導力の向上

教員のIT活用指導力の評価等により教員のIT活用能力を向上させる。

【具体的施策】

(1) 教員のIT活用指導力の評価の基準の具体化・明確化(文部科学省)

概ね全ての公立学校教員がコンピュータ等のITを活用して指導することができるようにするため、2006年度中に次の取り組みを推進する。

a) 教員のIT活用指導力の基準の具体化を図り、到達目標を明確にする。

b) ITを活用した教育の効果に関する調査研究を行い、その結果を公表し、広く周知することにより教員のIT活用に対する理解を高め、IT活用指導力の向上を促進する。

c) 教員が自由な時間に必要なITスキル等を学ぶことができるe-Learningプログラムの充実を図る。

d) 各教員のIT活用指導力の実態に応じたきめ細かな研修等の支援を行う。

(2) 教員のIT活用環境の整備(文部科学省)

<前掲 Ⅱ. 2.4 次世代を見据えた人的基盤づくり ①(1)(ア)>

6. 具体的な検討イメージ、アウトプット(案)

ICT活用指導力検討会

<「ICT活用指導力」の体系化>

○校種、教科等を踏まえた教員の「ICT活用指導力」について概念整理する。

- ・海外事例
- ・地方自治体における成功例
- ・検討会委員からの意見
- ・検討会委員からの資料提供
- ・有識者等ヒアリング 等



参考

集約

整理

関連付け

教員のICT活用指導力の基準

1. ○○○○
1-1. ……
1-2. ……
2. ○○○○
3. ○○○○
4. ○○○○
5. ○○○○

ホームページ

パンフレット

研修のモデルプログラム

地方自治体等における各種施策の推進

教員のICT活用指導力の向上

<過去に示された「指導場面」等の整理、再検討(作業部会の設置)>

- 「『ITを用いて指導できる』基準の作成のための調査研究」(H14年度)で示された「指導場面」
- 「eラーニング研修システムの開発に関する委嘱事業」(平成17年度)で示された指導場面に対応した「学習コース」(ICTキュービック) 等

教員のICT活用指導力の基準(イメージ)

1. 準備段階

1-1 教材研究にICTを活用することができる

1-2

2. 実施段階

2-1 動機づけのための提示にICTを活用することができる

2-2 教員による学習内容の説明にICTを活用することができる

2-3

3. 評価段階

3-1 児童生徒の評価にICTを活用することができる

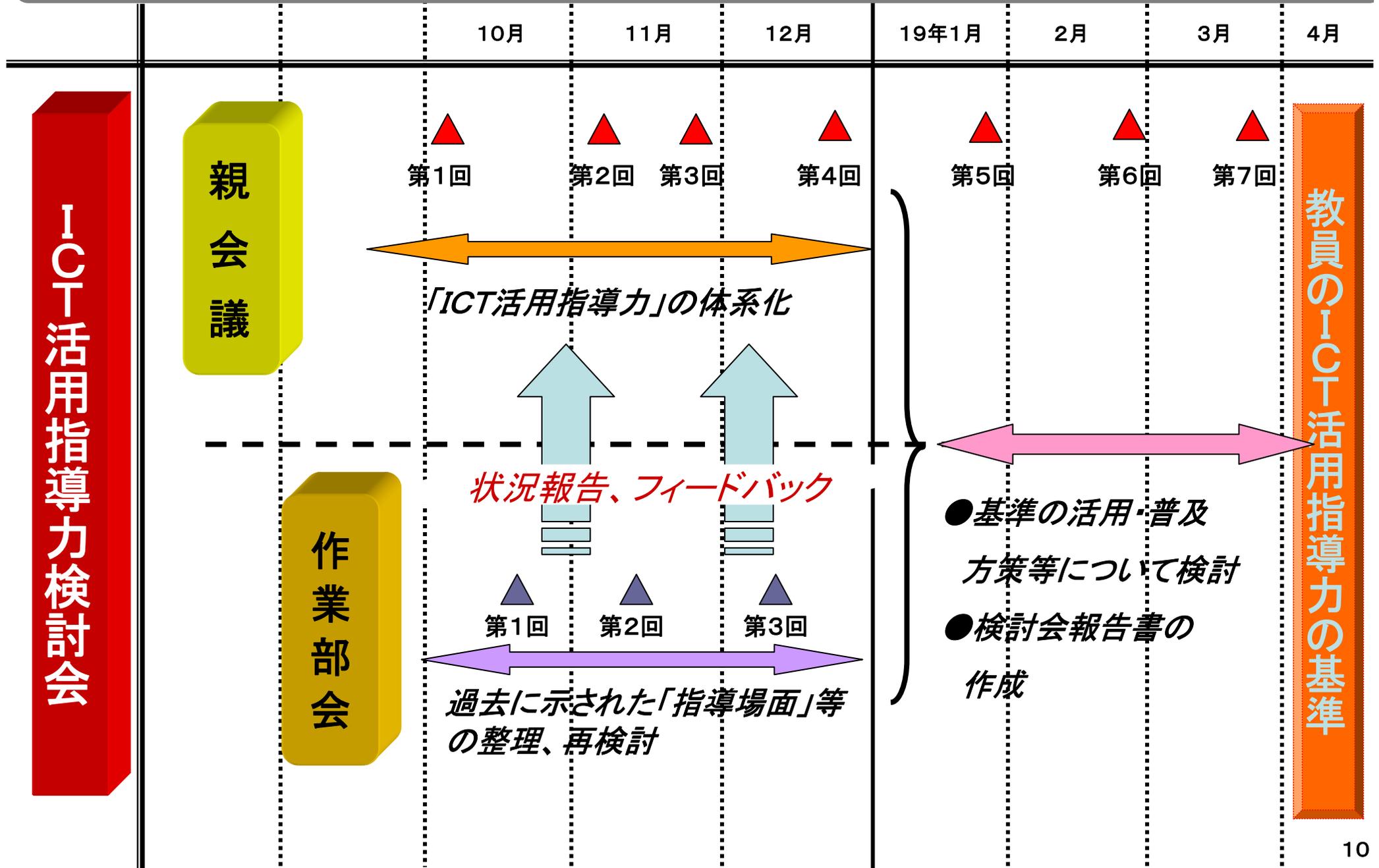
3-2

4.

7. 教員のICT活用指導力の基準の活用方法(案)

- 各教育委員会等を通じて、学校現場（管理職）へ周知徹底し各教員の自己啓発、意識改革に活用
- 地域が独自に実施する教員研修において活用
- 教員評価に「ICT活用指導力」が盛り込まれた際の評価基準として活用
- 教員養成課程での活用（大学等）
- 「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」の調査項目へ反映（平成18年度調査～）

8. 「ICT活用指導力検討会」のスケジュール(案)



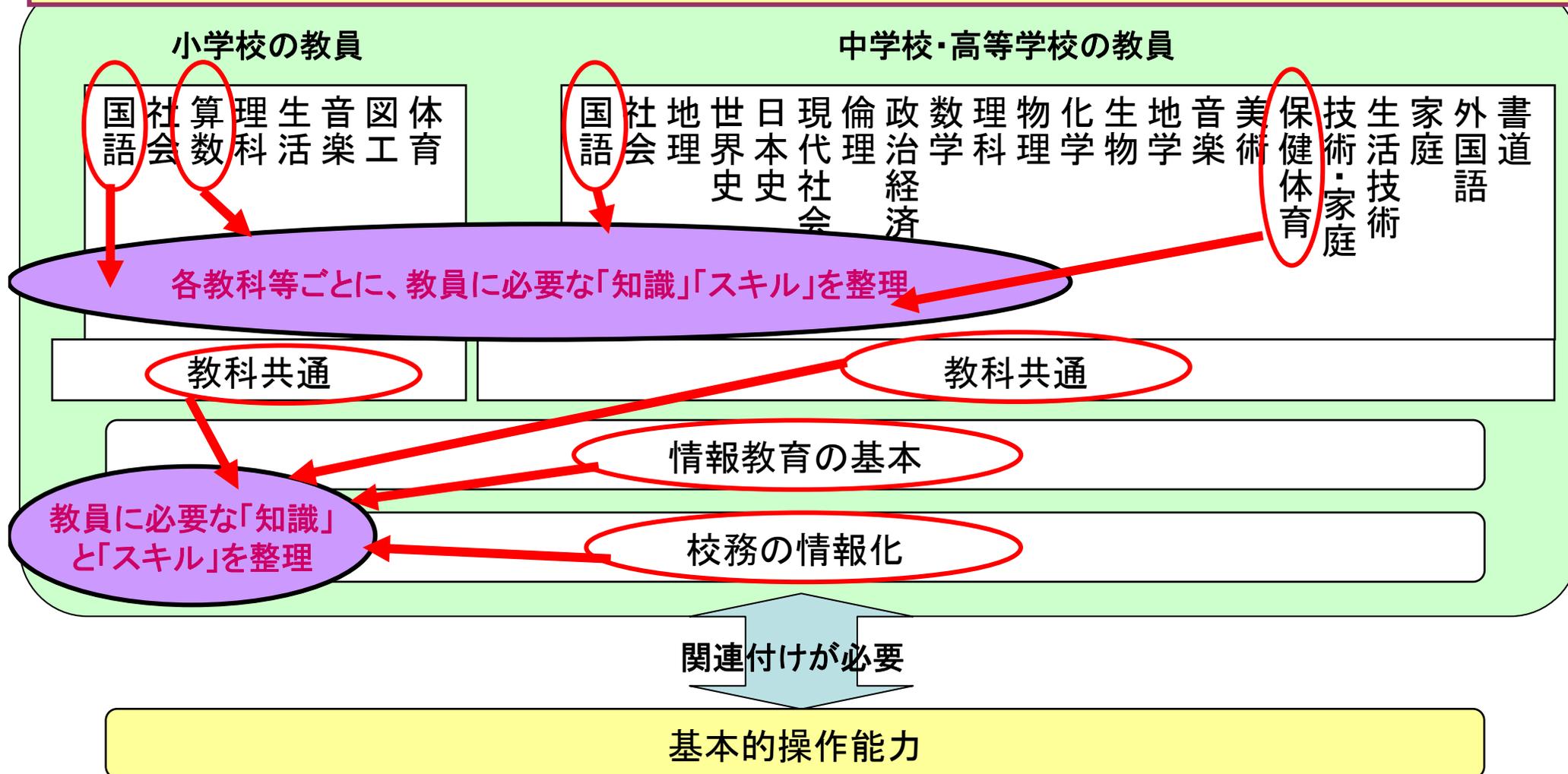
9. 具体的な検討スケジュール(案)

- 第1回(平成18年10月5日)
 - ①趣旨説明
 - ②作業部会の設置について
 - ③「ICT活用指導力」についてフリーディスカッション
- 第2回(11月7日)
 - ①「ICT活用指導力」の概念整理総論(その1)
 - ②委員からのプレゼンテーション(その1)
- 第3回(11月下旬)
 - ①「ICT活用指導力」の概念整理総論(その2)
 - ②委員からのプレゼンテーション(その2)
 - ③作業部会からの報告(その1)
- 第4回(12月下旬)
 - ①「ICT活用指導力」の概念整理各論(その1)
 - ②有識者等からのヒアリング(その1)
 - ③作業部会からの報告(その2)
- 第5回(平成19年1月下旬)
 - ①「ICT活用指導力」の概念整理各論(その2)
 - ②有識者等からのヒアリング(その2)
- 第6回(平成19年2月下旬)
 - ①「ICT活用指導力」の基準の活用方法・普及方法について
 - ②今後の教員のICT活用指導力の向上のための方策について
 - ③「ICT活用指導力検討会」報告書骨子(案)について
- 第7回(平成19年3月下旬)
 - ①「ICT活用指導力検討会」報告書素案について

(参考1)

「『ITを用いて指導できる』基準の作成のための調査研究」(平成14年度)概要

ICTを効果的に活用して「わかる授業」を行うことに関し、教員がどのような知識やスキルを習得する必要があるかについて明確にされていなかったため、各教科の指導にあたり必要な「知識」や「スキル」を示した。
(各教科等の並び順は、本調査研究報告書の内容に合わせており、学習指導要領における並び順とは異なる。)



(参考2) e-learning型の研修システムの提供 (ICTキュービック)

教員が授業でのICT活用方法などを自由な時間に研修することができるWeb提供型研修システムの提供 (<http://www.nicer.go.jp/ict3/>)

The image displays two screenshots of the ICT Cubic website. The left screenshot shows the main search interface with a search bar and various subject categories like '国語' (Language) circled in red. The right screenshot shows a detailed lesson plan page for '写真を使って簡単な物語や詩を作ろう' (Using photos to create simple stories or poems). The page includes a step-by-step guide (STEP 1 to STEP 4), a video thumbnail, and learning objectives. A large orange arrow points from the search interface to the lesson plan page, and another large orange arrow points from the lesson plan page to the right.

ICTキュービック
ICT for Teacher Training

学習コース検索 [検索] ? HELP
検索したいキーワードを入力してください。スペースで区切るとAND検索になります。
[検索レポート] [お薦め指導案] [読案レシビ] [その他の教育素材]

教科検索
小学校
国語 社会 算数 理科 生活 音楽 図工 家庭 体育 道徳・特別活動等 総合的な学習の時間
中学校
国語 社会 数学 理科 保健 技術・家庭 外国語 道徳・特別活動等 総合的な学習の時間 音楽
高校
国語 社会 数学 理科 保健 技術・家庭 外国語 道徳・特別活動等 総合的な学習の時間 音楽

授業でITを使ってみよう
Top > Menu > 写真を使って簡単な物語や詩を作ろう: Step1 概要

写真を使って簡単な物語や詩を作ろう
プレゼンテーションソフトの編集機能

STEP1 概要
STEP2 授業準備
STEP3 授業の流れとポイント
STEP4 応用事例・参考コンテンツ

■教師が用意した4枚の写真を見てイメージを膨らませ、簡単な物語や詩を書く授業です。

年度当初や学期のはじまりなどに、新しい気持ちで学習をスタートさせるために写真を使った詩や物語の発表会を2時間くらいの配当で行います。

教科書とうまく連動させ、新年度や新学期に明るさや希望を抱かせるような写真を用意しておき、写真の場面と順番を考えさせて詩や物語を書かせます。

できあがった詩や物語をプレゼンテーションソフトを使って提示しながら発表します。写真とプレゼンテーションソフトを使うことで子どもたちがイメージを膨らませたり、ストーリー性を考えたりするのの手助けとなります。

▲「児童」による物語や詩の発表の様子」
・映像を見る (1分04秒)
HIGH 高画質 LOW 低画質

●●● 学習指導要領との対応 ●●●
第5学年及び第6学年
内容
B 書くこと
(1) 書くことの能力を育てるため、次の事項について指導する。
ア 目的や意図に応じて、自分の考えを効果的に書くこと。
ウ 自分の考えを明確に表現するため、文章全体の紐立ての効果を考えること。

この事例で使用した機器・ソフトウェアの商品名は例示であり、特に推奨するものではありません。

Topへ Menuへ

▲このページの先頭へ
次へ
プラダインに関する情報はこちらへ